

1. 主題名 親切にすることのよさ【思いやり】

2. 教材名 拾ったりんご

歩道橋からりんごが落ちてくるところに遭遇した「ぼく」と友達は、面白がってりんごを拾う。それはおばあさんが落としてしまったものであって、「ぼく」たちは拾ったりんごを返してあげた。よいことをしよう、親切にしようという気持ちがなかったにも関わらず、おばあさんは大変感謝したようであった。新聞の投書でそのことを知った「ぼく」への自我関与を通して、親切にすることのよさについて考える

3. ねらい

りんごを拾った時の気持ちを振り返るタクちゃんの心の変化を共感的に理解することを通して、親切にすることのよさを知り、思いやりの心を大切にする道徳的心情を育む。

4. 授業の様子

本文を読んだ後、自身の行為を振り返り、「ぼく」のもやもやとしたすっきりしない思いを想像した。おばあさんの気持ちを知り、タクちゃんの感じた温かい思いについて、人に喜んでもらえることの嬉しさや、親切にすることの良さに気付いた。これから、タクちゃんが本当に心から親切な気持ちで行動できるのではないかと考えることもできた。



5. 授業後の感想（児童のノートより抜粋）

- わたしは、タクちゃんのように親切にしたいです。今度は、（タクちゃんが）本当に心から助けてあげて、たくさんの人を助けられるのではないかと思います。
- 思いやりの心がなく、思いやりの心をもってよいことをした時に嬉しく感じると思いました。
- 困っている人を助けるというのは、大切だと思いました。
- これからどんなに小さなことでも親切にしたいと思いました。
- タクちゃんは、りんごを面白いと思って拾ったけれど、最後に大切なことに気付いたのでえらいと思いました。
- 人を親切な気持ちで助けると心がすっきりすると思いました。

6. 今後の思いやりについての指導

自己中心的な考えから、徐々に、相手の立場や考え方が想像できるようになってきている。また、活動範囲が広がり多くの人と関わる機会も増えてきた。温かい心で接すること、接してもらうことのよさ、大切さを感じている。体験と関連付けながら、親切や思いやりのよさについて考えることができるようにしたい。